



IT業務のアウトソースが奏功

社内システムを24時間365日、
有人リモート運用し
IT部門の業務を効率化

はじめに

増え続ける情報システム部門の業務負担を軽減する方法とは

IT情報システム部門の業務は多岐にわたり、その負担は年々増えています。

日中は社内の問い合わせ対応などに追われ、24時間365日、稼働するシステムへの対応も求められます。

しかし、業務を細分化してみると、必ずしも社内に対応する必要のない作業は、専門性を持つ外部企業へアウトソースしたほうが、むしろ費用対効果の面でも良いケースがあります。

本資料では、ネットワークやサーバーの監視、障害対応などをテクバンの「システム運用マネジメント」へアウトソースしたことで、情報システム部門のリソース不足による業務負荷を解消し、品質や生産性の向上、そして工数削減につなげた企業事例をご紹介します。

INDEX

はじめに

増え続ける情シスの業務負担を軽減する方法とは 1

1. 導入の背景

少人数体制で満足な保守ができない 4

課題1：即時対応が求められるネットワーク、サーバーの保守に対応できない 5

課題2：Webサイト運用業務を担当できる人材が不足 6

2. システム運用マネジメントが選ばれた理由

専任技術者のリモート監視と柔軟な対応 8

メリット1：Webサイト運営など、多様な業務への柔軟な対応 9

メリット2：24時間365日の、システムの有人リモート監視 10

メリット3：社内環境に合わせた幅広い対応 11

3. 導入の効果

効果1：業務効率の改善 13

効果2：適正な人員配置と工数削減 14

効果ビフォーアフター 15

おわりに

アウトソースで業務改善 16

テクバンとは